

【受講した感想 & お礼の言葉】

今回、小森さんのお話を聞いて、読み手をその情報が本当に正しいかどうかを見極める力をつけていく必要があると感じました。メディアリテラシーという言葉に挙げられるように、正しい情報であるかということや、その中に含まれている本当の意図について読み取れるようにしていきたいと思いました。メディアの情報だけでなく、色々な情報から情報の本質をつかんでいけるよう、日頃からマインドを高く持って過激なことをしてはダメです。自分はまだ大学やその先の進路について詳しく考えたり、決めていたりはありませんが、選択肢の幅を狭めないようにするのはしっかり勉強していきたいなと思いました。楽しむべき所では楽しみ、リアを入れるべきところでは入れるというようにメリハリを付けた生活を送ることの結果はついてくるとあり、自分に自分で自分の可能性を潰さないようにしたいです。小森さんのお話を聞く中でメディアが面白そうだなと思ったり、また調べたいなと思いました。ありがとうございました。

【受講した感想 & お礼の言葉】

新聞は、写真よりも文章の
イメージでしたが、写真一枚
でもたくさんのお話を意図し
て撮っているということを知って

平気時代の人の何年分をもの情報と旧にナドス
ほど情報にあふれている。メディアリテラシー
自分が「スポーリ」していた経験を活かしてスポーリ読
を書いている人を見る。相手の人が言ったことを
受け止めて書く。と改善しない。本質をつかむことが
大切。写真にいかにも情報をとりこむかが大切
41つの写真に家族やカッパルを入れるなど
どのスペースも無駄にしないのが
良い写真。

情報を伝える手段は、色々あるんだなと思いました。新聞が
紙からネットに変わっていたり、テレビ以外のSNSが発展し
ていたりして、その変化に対応できるかがメディアでは大事
だと分かりました。講議を受ける前は、メディアが情報を
を変えてしまったりするイメージや、遺族の方を傷つけてしまう
こともあるんじゃないかという思いもありましたが、小森さん
が「正しい情報を伝える」ということを大事にされていることが
分かって見方が変わりました。自分もメディアリテラシーを
身に付けたいと思います。本当にありがとうございました。

【受講した感想 & お礼の言葉】

新聞記者をしている上で、読みたい!と思ってもらえるためにどんな記事を書けばいいのか、面白そうと思ってもらえる記事はどのようなものなのか考えたりすることがやりがいたとおっしゃっていたので、常に読者の目線になることが大切なのだと思います。テレビやSNSで発信されている情報は、新聞記者のインタビューが元になっていることが多くを知ったので、記者の仕事は絶対になくなってはいけないことだと改めて思いました。小森さんのお話を聞いて、将来やりたいことが決まっていなくても、勉強していたら、視野を広げることができるとおっしゃっていたので、毎日忙しい中でもしっかりと自分のための勉強をしていこうと改めて感じることができました。今日は、お忙しい中、来ていただき、貴重なお話を聞くことができました。取材など、大変なことはたくさんあると思いますが、頑張ってください。今日は本当にありがとうございました。

【受講した感想 & お礼の言葉】

やりとホワイト

コトでい

自分の書いた記事を読んでくれたのが目に見えたり、
地域の人と関われるのもやりがい。

興味あることを記事にできるpart
メディア関係にどうつながるか

オンラインの取材が増えた
メディアリテラシー身に付けよう!

いう
考え
大学
のし
て
決め

私は文理選択は今のところ理系にしようかなと思っていますんです
けど、今日 新聞記者という文系のお仕事の話聞いて、文系も
おもしろそうだなと感じました。新聞とまいたら紙のイメージの
ほうが強いけど、今はネットに上げる用の記事を書いたりすることも
あって、写真も自分で撮ったりすると知って少し驚きました。どのくらい
数の人が自分の書いた記事を読んでくれたかわかるというのは
モクベーションになって、個人的にいいことだと思えます。あと、
自分の興味のあることについて取材して、記事を書いて...と
思っていたより自由なことには驚きました！私も小森さんと同じで
今の時点では将来の夢が決まっていなくて不安だったけど、大学に
入学してからまた興味のあることを見つけたと聞いて安心でき
ました。夢ができたときに困らないように一生懸命頑張りたいです。
今日はありがとうございました。

★提出〆切...9/16(金)までに、担任の先生に提出。

【受講した感想 & お礼の言葉】

私は、はっきりと将来の夢は決ま、ていないけど雑誌や新聞などの
メディア関係の仕事に興味をも、ています。今回のお話を聞いて、
夢がなくても興味のあることをもとに進路を選ばしてもいいんだなと
思いました。正直文章を書くのが得意というわけでもないから、文系に
進んでも大丈夫かな、大学もその方向で考えるのは甘いかなと色々心配
だに不安でした。でも、興味のあることに関して学びたいことが
進路選択の第一歩だと思えたので難しいことを考えずに進路を
決めていくつもりだと思、ていました。仕事の内容は知らなかったこともあ、つて
学ぶ必要はあったなと学、ぶることがたくさんありました。仕事内容を
聞いてみると、2,3回取材をしてその日の夕方から記事を書くという
ハードな仕事なんだと思、ていました。でも、自分だけがその情報を知、っている
ということはた、くかに少しうれ、しい。その出来事の最前線に立、てるのは
誇、らしい気持ちになれるのでいいなと思、ていました。今回の講座でよりメディアに興味
をも、てました。分かりやすい講座をありがとうございました。

【受講した感想 & お礼の言葉】

今回の受講では、メディアについてや記者の仕事についてを学ばせていただきました。特に僕はいかに良い記事を作って、より多くの人に読んでもらうことが大事だということに本物の記者の気持ちがいとおもいました。写真一つでもその中でできるだけ多くの情報をつめこもうという努力をしたり、ちゃんと正しい情報を世の中に伝えることを心がけていて、僕もそういう一生懸命になりたいと思いました。またネットニュースを見る人が増えて新聞を読む人が減ってきていふけれど、それにあわせてネットに記事をのせたり、コリサで直接取材にいけなからオンラインでしたりして、時代とともに変化しているなあとおもいました。また記者という仕事は、やはりこみをしたりと、とても大変な作業であふけれど、自分の好きなこと取材できたり、また自分の得意分野をいかせるといふことがわかりました。

今回は新聞社についての貴重なお話をきかせていただき誠にありがとうございました。

私は何年前までは新聞を取っていました。しかしスマホが普及し、
スマホが多く使われるようになった頃ぐらゐから新聞を取らなくなったと思ひます。
だから新聞はいつか無くなるだろうと思ひました。でもそれを並に取り、
SNSやインターネットに記事を発信したりして、「新聞」という記事を紙に
並べる形からネット上に記事を並べる形に変化しています。時代とともに
新聞の形変化があるな"なと思ひ、その内容に興味を持ちまし
た。新聞は、自分がその日のスケジュールを立てたり、自分の興味
のある記事を書く事も興味かの1つだ"と思ひ、ほか、それ以外
にも、名刺1枚でどこへも行けるのも良いなと思ひました。

～Xマセ～

小森さんの高校での文理の話や、大学での話を聞いて、将来の
つなげる部分が"何個かあり、つなげていこう"と思ひました。

大学で本当にやソたい職業を決断する事も可能だ"と知ったので、
最後まで悩もうと思ひました。

【受講した感想 & お礼の言葉】

④ 遠く地域の人にも
案にしゃさいでまる

XディTというものは少し怖いイメージをもっていただけで、XディTは私達にとってすごく大切なもので、全然私が思っていたイメージと違いました。新聞記者はかたぐるしい人達ではなく、すごく優しく、親しみやすいとわかりました。私が7番おどろいたことは、好き勝ってしていいということです。自分の調べたいことや興味があることについて記事をおけるのはとてもいいし、続けたいと思える仕事だと思いました。また、記事をおくために色々な事を心がけていて、何れいば情報の本質をしっかりとつかんだり、1枚の写真にできるだけの情報を詰めこんだりしていて、すごいと思いました。この仕事は色々な人と関わることができるし、世の中のことなどを詳しく知ることができるし、より深く学んでいけるとわかりました。今回、お話を聞いて、XディTに対する印象がすごくよくなったし、すごくやりがいのある仕事だとわかりました。今回は、私達にわかりやすくお話ししてくださりありがとうございました。これから元氣張っていこうと思いました。

【受講した感想 & お礼の言葉】

普段も家族が買っているのをたまに読んでいる新聞の気になって
いたことが糸田かく知ることになりました。好きな事取材してきた
名刺があれば誰にでも会える仕事というのがとても夢の
あることだなと思いました。 ネット記事の魅力やコロナ
前後の仕事のギャップなど今と昔のお話も混じしてい
てとても興味深かったです。写真撮影の技術は入社してから
つけていくというのが一番驚きました。ただの写真と
違い、新聞やネット記事の小さな範囲でとれた
1つの情報を入れるのかなどと新聞ならではの
スキルが必要なので入社後からでもいけるのかな
と思いました。ご来校ありがとうございました。

自分の家では新聞は取っていないけど、

学校である新聞を読む(時)と面白いなと思っています。あれには、記者さんのもの凄いな力が隠されているんだなと、今回思いしらされた。新聞社の記者さんは、基本的に好き勝って取材はしていいが、最初の年は違うことを知りました。最初の3年は、警察に配置されるのがほとんどで、^{驚きました。}しかも、情報を得るためには、ある程度通って信頼を得ないといけないという、ものすごく過酷なことをされているのだと知りました。しかしそこには自分しか手に入れることができない情報があるというやりがいがあると思いました。新聞などのメディアで最も大切なことは、話し手が本当に言いたいことを聞きとることで、話し手に聴かせることが大切だと分かりました。最近ではネットでも記事もあるが、それには、新聞では地域限定だが、ネットだと全国の人に気軽に知ってもらえるというメリットがあることが分かりました。新聞では、何度も取材をしに行かなければならないという過酷な時もあるが、そこには、自分しか知れない情報も、世に届けるというやりがいがあるが、

【受講した感想 & お礼の言葉】

私、家は新聞をとって、中学頃には比へるご時間もなくあまり読めませんでした。好きなことでお話を聞かせてごためになりました。今、時代はインターネット社会で、手軽にニュースも見えますが、新聞はごも魅力的な媒体だと思えます。バリエーションごと、情報、正確さ、たろ、枚、写真にたくさん情報ごめ込むごテクニックは実際に仕事ごしている人ごらごけ、視点でごご勉強になりました。今はフェイスニュースご多、印象操作だ、たろ色ごの脚色ごいたごご問題ごなごたごで、フェイスご報道ごするごごはごご重要なごごだと思えます。他にもたくさん取材ごする時ごごの注意ご点、や身ごつけごいるごごご聞ごせてごごためになりました。ごごめごらご頑張ごてごごさご。

【受講した感想 & お礼の言葉】

前提に、Dmとかで、
の言や可が、原イ為の半日世々

自分は講演の聞く前までは、マイナスなイメージしか
なかったけど、講演後は、とても興味がわかる
コンテンツの 一つになりました。自分はインターネットと介して
ニュースを見たりするけど、ネットではしか見本はい
ニュースもあつたりして、とても驚いた。

記者の仕事は意外にもアタロクであり、17の取
材でもたたく人の労力を要していると分かりました。
それに、コミュニケーションの面でもとても大事であり、
コミュニケーション能力は取材の上での大前提であ
ると分かった。

自分が今からやれることとしては、コミュニケーションの
面でももちろん、自己分析能力や、そのニュースは本当
に正しいのかと判断する力を身に付けたらいいと思った。

【受講した感想 & お礼の言葉】

④
選択肢をせざるために勉強は事
-自分の興味で学部を選んだりして良い

新聞記者は「名刺一枚」で誰にでも会える、すごい仕事だということが分かった。もし自分が新聞記者になったら好きなアーティストに会い取材したいなと思った。新聞記者の仕事は人とうまくコミュニケーションをとれたり、人と話をするのが得意だったりしないと難しいと聞いて、私は人と話すとが苦手なので今から克服できるように努力しようと思った。また、人と話すことは新聞記者であるなしに関わらず大切なことなので色々な人と話しをするのが重要だと思った。また、最近ではブログからデジタルに変わり、きていてネットで目をつけられるような記事を書くことも大切だということが分かった。デジタル化によるメリットはより多くの人たちに見てもらえることだと聞き、確かにやりがいを感じられそうだなと思った。将来の夢はまだ決まっていなけれど小森さんが言ったように選択肢をせざるために今はしっかりと勉強して少しでも良い大学に行けるように頑張ろうと思った。

★提出必切・9/16(金)までに、担任の先生に提出。

【受講した感想 & お礼の言葉】

講話をして下さりありがとうございました。正直なところ最初は記者やマスコミに対し、事実を伝えるよい仕事だ"と思う反面、あまり良く思わないイメージも強かったです。しかし、小森さんの講話を聞いて、正確な情報でありのままの事実を伝え、少しでも寄り添えるように努力する新聞記者としての強い思いを感じました。また、事件からイベント、政治まで幅広く名刺一つで誰にでも会いに行けるとてもかっこいい仕事だ"と思いました。自分の好きなことを掘り下げられるという意味でも趣味や自分を生かせる良い仕事だ"と思いました。下調べをしっかり行うことで、より深い質問をして、情報の本質をつかもうとしているのかすごかったです。

私はネット用と紙用で新聞記事があるのは知っていたのですがこの二つで掲載方法によって書き変えていることがあるというのは初めて知りました。その場に合わせた適切な方法で出来る限りたくさんのお情報をつねこもうとしているのは工夫を感じました。

★提出〆切…9/16(金)までに、担任の先生に提出。

【受講した感想 & お礼の言葉】

正確に伝える
お話を聴く
正しい情報は
本当のことが見極める

メディア業界で仕事をしている方の話を聞いて良かったです。私も将来メディア関係の仕事につきたいと考えているので、小森さんの話としても興味深かったです。今の時代ネットが普及し、紙の新聞は読まれる機会が少なくなっていると思います。ですが、その中に記者の方や取材された方の伝えたいことや思いが詰まっているんだと改めて感じました。小森さんが正しい情報を正確に伝えることを大切にしていると言っていて、確かにネットだと間違った情報もたくさんあるけど、新聞は1つ1つ記者の方が取材して調べたことが書いてあるので信ぴょう性が高いです。そういった面でも新聞の重要性をとても感じられました。私も将来メディア業界で働く時に、しっかり調べて正しい情報を見極めて、それをたくさんの人に届けていきたいと思いました。

今日は貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。小森さんから聞いたことを生かして、私も夢に向かって頑張ろうと思います。

★提出〆切…9/16(金)までに、担任の先生に提出。

私は、正直、今回のお話を聞くまで、新聞やテレビなどの記者の方はどのような仕事をしているのか全く分かりませんでした。なので、今回この講座を受けさせてくれたとき、新聞記者について知ろうと思いました。私が今回の講座を聞いていいなあと思ったことは、各社1枚で構わないと出会うことが出来るということだと思います。

なぜかと言うと、今回の講座に出て来た入社者の監督と話すことが出来るということは新聞記者などに限らないと経験できたことだと思ったからです。また、地域密着型だと、その地域の人を取材し、その人と仲良くなることで、その人が新しい分野のコースを知ることもでき、どんな自分の知識がコースにあたるのかも分かる量も増え、とても楽しそうだなと思いました。ただし入社3年間は警察官に72まで行ければいいという大変なこともあるということが分かりました。

今日はお忙しい中講座を聞いて下さりありがとうございました。今後の生活に活かして生活したいと思います。

【受講した感想 & お礼の言葉】

私は今回の授業が一番大切だと感じたことは、下調べの大切さ
です。新聞社や働く方々は、取材に行くために必ず
たくさん下調べをなさります。ほくほ、それがすごいいい
ました。どの様なことをする時にも、ほくほ下調べをめん
どくもがって色々文書にすることはあります。
しかし、それを毎回しているのはとても苦しいと思いま
す。でも下調べをせざるに色んなところに行って失敗してしま
うので、次からはもっともっと下調べをしたいと思います。

【受講した感想 & お礼の言葉】

下調べは、しっかりしておく。

今回は講話をしていただきありがとうございました。新聞記者の方々は、とても大変なんだなということが身にしめて分かりました。入社して3年間は、お巡りさんの家に早朝か夜遅くに聞きに行くという話を聞いて、結構きつそうだな、と思いました。その後は自分から取材したいものをしてもらい、聞いて、その後は意外と自由なんだな、と思いました。他にも記者は、取材相手が言葉にしっかり耳を傾け、同情や相手の言葉の意味を見い出すことが必要なんだな、と知りました。これは、この新聞記者以外の仕事でも必要なことだと聞き、これからは僕もそのことにしっかり意識しながら行動していきたいと思いました。また、大きなイベント(例に出していただいたゴミのことなど)の時には、両者の意見を聞き、それぞれのメリット・デメリットを知ることが大切だと分かりました。最近は「コロナ」によって、インターネット上での取材が多くなっていると聞きました。直接取材相手に会って取材することができないかわりに、とても遠くの人取材をできることがあり、どちらとも良い点と悪い点があるな、と思いました。今回学んだことを、進路の選択にいかしていきます。本当にありがとうございました。

★提出は、9/16(金)までに、担任の先生に提出。